

市議会だより



平成18年(2006)5月1日

発行 鈴鹿市議会

No. 3

編集 議会広報委員会

鈴鹿市黒金町7丁目5番地 〒31-4581
http://www.city.kushiro.hokkaido.jp
(鈴鹿市ホームページ)



「阿寒川」 中村健太郎さん(阿寒中3年)

議会日程

2/21	議会運営委員会
2月定例会 (会期25日間)	
2/28	市政方針／教育行政方針 提案説明
3/6	提案説明(追加議案)
3/6～8	各会派代表質問
3/9、10、13	質疑・一般質問
3/14～23	委員会審査
3/16	委員長報告／本会議採決 (補正予算等の先議分)
3/24	委員長報告／討論／ 本会議採決

4月臨時会

4/13	提案説明／委員会審査・ 採決／委員長報告／ 本会議採決
------	-----------------------------------

賛否の討論

予算案などの採決にあたり、2会派が賛否の討論を行いました。要旨は次のとおりです。

○日本共産党議員団反対要旨

新年度予算は、国の政策で老齢者控除の廃止や定率減税の縮小による増税が行われている上、鈴鹿市においては基幹産業の衰退や経済状況の悪化など、市全体が厳しい状況における負担が重いにもかかわらず、2年連続での国保料の値上げや、阿寒高校の通学生徒の交通費補助打ち切りなど、市民生活を圧迫する内容となっている。また、合併後の厳しい財政状況にもかかわらず、星が浦の立体交差事業への多額な市費投入は、不要不急である。さらに予算作成過程における51億円もの巨額の財源不足は、合併における財政シミュレーションの初年度からの破綻といえるものであり、各種の基金や国保会計などから借り入れてのつじつま合

わせは、一層の市民負担を将来に負わせざるを得ないものである。以上の理由により反対する。

○阿寒クラブ賛成要旨

新年度予算は、依然として厳しい財政状況の下ではあるが、未来の鈴鹿市にとって、不可欠な施策が実現された内容である。阿寒中学校の改築や音別消防支署・コミュニティセンターの建設は、合併に懸けた両町民の強い願いに即応したものであり、総合体育館の着工は、鈴鹿・根室圏の長年の悲願でもあった。また産業施策では、拡大した農業分野に重きを置くとともに、水産については、鯨をはじめ地場水産物の販路開拓を目指す取り組みへの支援が盛り込まれている。一方、基金の繰り入れにより国保料・介護保険料の上げ幅を抑制して、市民負担の軽減に努めるとともに、福祉・教育・防災施策等に細やかな配慮がなされ、市民の安心・安全を確保するための予算措置となっている。以上の理由により賛成する。

2月定例会では、合併後初の年間予算となる新年度予算案や行財政問題、中市街地の活性化、駅周辺整備等について論議がありました。旧市議会及び委員会では、新市の総合計画や行財政問題、中4月臨時会では、鳥取西小大規模改造に伴う工事請負契約の締結に関する件などを原案どおり可決しました。

各会派代表質問

3月6~8日

市政クラブ

淀川 了一 議員

釧路駅周辺の再整備 市民へ全体構想を明示

問 釧路駅周辺を再整備するにあたり、何を市民に情報提供していくのか。

答 「釧路市の顔」として、市民に事業費や市民負担、事業効果等の情報公開や意見集約を行うとともに、跨線橋の架替え見通しも明確に示したい。

問 港湾部の都市建設部との統合は拙速だ。基幹産業を支える部でもあり、再考すべきでないか。

答 関連業務の連携により組織の機動性を発揮するため、発展的に統合再編を行うものである。釧路港発展のため、決意を新たに取り組みたい。

問 くしろ男女共同参画プランに掲げた各審議会の女性委員割合の目標値30%達成は、可能なのか。

答 64審議会中、本年2月末で39の審議会で委嘱を終え、169名と23.67%の割合になるが、プラン最終の18年度末には30%を達成するよう努めたい。

問 地域住民の長年の懸案である旭橋通の拡幅整備について、進捗状況を聞きたい。

答 17年度の概略設計等に続き、18年度には工法検討等を行う。国の道路予算の情勢を見極め、19年度中の事業着手に向け努力したい。

問 20年度統合予定の柏木小の利活用について、周辺ロケーションを生かし多目的施設にできないか。

答 環境保全や自然保護の普及啓発拠点、生涯スポーツ施設としての活用も視野に入れ、市民要望等も含め総合的に検討したい。



自然環境に恵まれた柏木小学校

問 新たに予算計上された「森林セラピーモルツア」に期待している。今後の構想を聞きたい。

答 新年度、阿寒や音別での森林浴や国立公園見学、グルメ体験などによるモルツアを実施する。結果を検証しながら観光資源化に取り組みたい。

くしろ自民クラブ

中村 正嗣 議員

総合計画策定に向け コストのかからないまちづくりを

問 少子高齢社会を迎えるコンパクトシティの視点を持って総合計画を策定すべきでないか。

答 合併により市域が大きく広がったが、それぞれの地域における利便性の向上や、コストのかからないまちづくりの推進を大きな視点とし、取り組みたい。

問 「炭鉱技術移転5カ年計画」延長に向け、ユーター確保の取り組みを聞きたい。

答 海外炭と競合可能な炭価を目指し、輸送コスト削減につながる道内電力会社や地元製紙工場への地元炭納入について、道と連携し働きかけたい。

問 政府より道路特定財源の一般財源化への見直し方針が示されたが、北海道横断自動車道建設への影響をどう見通しているか。

答 本別～釧路間は既に着工しており、今後も工事が順調に推移するものと認識している。



建設中の高速道路の橋脚

問 釧路根室圏総合体育馆建設に関し、道の財政支援の見通しを聞きたい。

答 合併特例債の充当残分である起債対象経費の5%（約1億1千万円）と、地元負担となる合併特例債の元利償還の30%の2分の1（約3億7千万円）を道が負担するものと試算している。

問 市業務の民間委託など、アウトソーシングの実施計画を聞きたい。

答 行政のスリム化を図るために、聖域を設けることなく外部化を強力に推進する。新年度において指針を明確に打ち出したい。

問 耐震旅客船岸壁の整備計画を聞きたい。

答 18年度から調査に着手できるよう国へ要請し、22年度の完成を目標に関係機関と協議を進めたい。

本会議

阿寒 クラブ

山崎 征勝 議員

豊かな自然環境を生かし
阿寒本町市街地の住宅建設促進

問 温暖な気候と低価格な土地を生かして、阿寒本町市街地に住宅建設を促進する考えはないか。

答 旧阿寒町で設置された地域住宅づくり検討会から提言をいただき、普及啓発に取り組みたい。

問 阿寒病院を早期に釧路病院の分院にできないか。

答 分院化で医療の充実や安定した医療提供体制の整備が実現できるが、実情は医師の確保が課題となっている。医師派遣要請を継続するほか、あらゆるルートを活用して医師確保に努めたい。

問 阿寒農協が阿寒地区と釧路地区に建設を計画しているTMRセンター（集中飼料調整施設）について、市の支援策を聞きたい。

答 酪農家の労働省力化や土地の有効活用など農業経営に大きく寄与するため、国の補助制度の事業採択に向けて支援を行ってきた。今後さらに、施設建設に向けて同農協と協議を進めていきたい。

問 市内2つの国立公園を生かした観光戦略をどう考えているのか。

答 恵まれた自然環境の優位性を生かすことを基本に、自然体験休養型観光の魅力づくりと都市型観光を連携させ、ブランド力の向上を図りたい。

問 堆肥の散布による草地の窒素過多が懸念される。ふん尿の再利用策についてどう考えているのか。

答 道では、農地の窒素過多の研究が進められており、この結果を待って対応したい。

問 阿寒高校の存続運動について、道教委に対しどう働きかけるのか。

答 合併協議の経過も踏まえ、道教委開催の「意見を聞く会」や「地域別検討協議会」の中で働きかけを行い、協議を深めていきたい。



学校の存続が要望されている阿寒高校

市民連合議員団

千葉 光雄 議員

19年度以降の財源不足
改革プラン期間内の単年度黒字へ努力

問 19年度の財源不足額は、50億円を上回る懸念がある。今後の財政見通しをどう考えているか。

答 新年度に策定する「活力創生釧路市集中改革プラン」の期間内（18～22年度）で、単年度黒字を目指し、府内一丸となって努力したい。

問 駅周辺の再開発事業に關し、鉄道高架と橋上駅化のどちらを選択するかの判断基準は何か。

答 事業効果を考慮した上で、事業費や財政負担、市民負担など市民への情報公開や意見集約を行い、総合的に判断したい。



再開発が注目される釧路駅周辺

問 丸井今井釧路店の撤退問題をどう受け止めて、今後の取り組みを展開していくのか。

答 地域経済への波及や市民生活に大きな影響が出ると認識している。最小限に食い止めるため、商業施設として活用されるよう後継テナントの確保等、経済界の誘致活動をサポートしていきたい。

問 財政運営における他会計への繰出金の貸付金化、各種基金からの借入れについての対応を聞きたい。

答 17年度よりこれらの償還を始めている。今後も特別会計や基金の運営に支障を来さないことを基本として償還していきたい。

問 合併後の戦略的な観光推進策について聞きたい。

答 道東最大の都市機能と各地域との連携軸に位置する好条件を生かし、自然・食、産業・文化等を連携させ、観光釧路のブランド力向上を図りたい。

問 水産業再生に向け、水産釧路のグランドデザインをどう描くのか。

答 資源回復を図りつつ、質の高い水産物の生産体制を確立するとともに、高次加工を目指した水産加工業の体质強化を図りたい。

各会派代表質問

3月6~8日

日本共産党議員団

石川 明美 議員

市長の多選自粛条例 あくまで努力義務規定

問 多選自粛は自らの公約によるべきで、条例により後の市長を拘束するのは越権行為でないか。

答 多選の弊害や市政の硬直化を防ぐため、自分自身と後の市長にも自粛を促す思いから、制度化したいと考え提案した。

問 土地開発公社は廃止すべきでないか。また、釧路振興公社の保有地はどうするのか。

答 土地開発公社は、必要と判断している。まずは経営健全化に優先的に取り組むことにし、振興公社についてはその後対処したい。

問 税制改正により、18年度から市民税が非課税から課税となる市民のうち、市が行う高齢者福祉施策の対象外となる人への対策を考えているのか。

答 国から市への補助が廃止されたこともあり、現段階では、該当者への特別な救済措置は難しい。

問 季節労働者の雇用対策として、例えば入札時に条件をつけるなど、支援することができないか。

答 労働者の雇用に関することは、雇用主の裁量に基づくものであり難しい。



季節労働者冬期技能講習

問 18年度の障害者自立支援法施行に際し、福祉サービス等の利用料に対する市独自減免策はないか。

答 国の負担軽減措置もあり、すでに低所得者の負担軽減を図る市独自事業も実施している。さらなる減免は法の趣旨からも難しい。

問 指定管理者制度は、契約事業者の変更により一部の人に解雇者が出ると聞いている。雇用維持のルールづくりが必要でないか。

答 同制度は原則公募で、施設管理を安定して行う人員や経営能力等が総合的に考慮される。雇用についても、雇用主の努力と責任で対処願いたい。

音 別 会 箕哥 昌晴 議員

農業担い手対策のため プロジェクトチームを設置

問 新市農業振興の担い手対策として、関係団体と協議のための組織づくりが必要でないか。

答 市と関係機関で組織する「釧路市農業農村経営生産推進会議」において、プロジェクトチームを立ち上げビジョンを示したい。

問 音別診療所において、専門医の定期的派遣による診療科目の開設ができないか。

答 現状では専門医確保のめどが立たず難しいが、従来どおりの医師派遣を継続しながら、医療要望に応えられるよう努めたい。



市立釧路国民健康保険音別診療所

問 音別地区での特別養護老人ホーム建設に至るまでの地域間格差是正について、どう考えるのか。

答 新年度に音別地域包括支援センターを設置し、地域ケアの拠点として新たな介護予防事業に取り組むほか、関係機関と連携して高齢者福祉サービスの充実に努めたい。

問 市有林の整備計画について聞きたい。

答 旧3市町の森林施業計画は、18年度で終了する。19年度には新たに新市の施業計画を策定し、造林や間伐などの保育事業を計画的に実施したい。

問 地域住民の協力により災害対策に当たるため、全市的規模での自主防災組織づくりに取り組むべきでないか。

答 地域住民の自発的な意識の盛り上がりが重要である。防災担当部署と消防が連携し、未組織地区における組織化に向けて指導・助言をしたい。

問 市域の拡大に伴い、市民の協力による「道路情報モニター制度」の創設を検討できないか。

答 地域住民の力を借りることは必要と認識している。他の自治体の実例を参考に調査・研究したい。

本会議

自由新政クラブ

畠中 優周 議員

東港区周辺地域の再開発と整備計画
にぎわいと防災の拠点づくりへ

問 釧路港東港区を含めた地域の再開発や整備計画について聞きたい。

答 地域の特性を生かし、市民や観光客が集うにぎわいの拠点づくりや、耐震旅客船岸壁を中心に地震に強い防災拠点を目指し整備を進めたい。



耐震旅客船岸壁（完成予想図）

問 市がまちづくりの政策メニューを提案して、賛同する市民や企業から寄付を募り、これを新たな公共財源として活用してはどうか。

答 財源確保の観点からも、研究課題と認識している。既存の特定目的基金との関わりも含め、先進事例を研究したい。

問 釧路地区の市道の恒久舗装化について聞きたい。

答 今後も幅員8m以上の市道を対象に、道路維持管理費のかさむ路線や公共施設等の周辺を優先的に、利用状況を考慮しながら整備を進めたい。

問 昆布加工品の原産地表示義務化への働きかけと、釧路ブランドの確立をどう考えているか。

答 ^{*}IQ制度の堅持とあわせ、引き続き国へ要望したい。「食べる昆布」の普及など、関係機関等と連携を図り、釧路ブランド確立に取り組みたい。

問 地域農産物のブランド化に向け、生産・流通・販売・消費者・飲食関係者等を幅広く網羅した組織の構築が必要でないか。

答 各分野が一体となった連携が必要と認識している。今後も品質の差別化や生産量の拡大を図りながら、ブランド化につなげていきたい。

問 消費低迷による牛乳の生産調整への対策について聞きたい。

答 酪農生産基盤の強化に向け、国や道の補助制度を活用し酪農振興を図るほか、学校給食での使用や広報誌等によるPRで消費拡大に努めたい。

公明党議員団

吾妻 巖 議員

市立病院におけるアレルギー診療
相談窓口の設置を検討

問 市立釧路総合病院におけるアレルギー診療について聞きたい。

答 当面は看護師対象の院内学習を実施するとともに、受診者の動向を見ながら、国立成育医療センターの専門医によるアトピーやぜんそく教室の開催、相談窓口の設置等を検討していきたい。

問 釧路湿原国立公園と阿寒国立公園を一体化させた世界自然遺産登録運動を展開できないか。

答 基準を満たしていないため難しいが、関係自治体等と連携し、保全と賢明な利用に努めたい。

問 新市総合計画の中に、^{*}福祉工場の構想を位置づけられないか。

答 労働関係法の適用による設置基準のハードルが高いことや障害者自立支援法の成立など、課題が多く実現は難しい。

問 国に国際的な石炭鉱山技術の交流センター誘致を働きかけてはどうか。

答 現時点では新たな枠組みを求めるのではなく、まずは炭鉱技術海外移転事業の19年度以降の継続に全力で取り組みたい。

問 釧路公立大学に大学院を設置できないか。

答 必要性は認識している。19年度には大学全入時代が到来すると言われており、院生確保の問題や大学院の維持にも多額の経費がかかるため、大学側と連携を図り研究を進めたい。



大学院設置が求められた釧路公立大学

問 学校給食の民間委託化について聞きたい。

答 自校方式からセンターへの移行を進めるとともに、策定予定の「アウトソーシング推進に関する指針」等と整合性を図りながら、18年度中に一定の方向性を見出したい。



啄木像と港文館

問 について、市の対応を聞きたい。

答 行革を進めていく観点から、自治体負担が増加する懸念もある。人員計画や予算、組織体制等の影響を見定め対応したい。

（音別会 杉山範雄 議員）

問 森林環境教育プログラムを作成できないか。

答 「いいこいの森」をはじめ、市有林を活用した自然環境教育学習プログラムの拡充に努めたい。

（阿寒ク 曽我部元親 議員）

問 食の付加価値を高めるため、農業関係の研究機関を設置できないか。

答 既存施設を活用しながら、関係機関と連携し、加工研究の推進を図りたい。

（市民連 宮田 団議員）

問 高齢者バス等の利用助成は、回数券の一律配付から実費方式にし、支給枠を拡大してはどうか。

（年度ごとに支給要件が変更になるため、枠拡大は困難だが、実費方式は検討課題と考えている。）

問 学校での子供の安全対策に対する取り組みに、さらなる支援策を検討できないか。
答 国や道から提示される学校安全に関する制度の活用を検討し、より効果的な対策を講じていきたい。

（阿寒ク）吉田守人（議員）

問 水都くしろとしては、メツカとなる中学校アイスホッケーだけでなく、他の競技の振興にも力を注げないか。
答 「スポーツ拠点づくり推進事業」は一自治体に対し一大会しか指定を受けられないが、他の種目についても普及や振興に取り組みたい。

（市民連）酒巻勝美（議員）

問 各種窓口を一本化する市民総合窓口開設に向けた取り組み状況を聞きたい。
答 現時点では、フロアスペースや担当員の配置の問題もあり難しいが、証明業務の集約化は検討を急ぎたい。

（共産党）大森昌子（議員）

問 白樺台地区は高齢者が増えていることや、消火栓の設置数からみても、消防署が必要でないか。

答 桜ヶ岡支署で同地区を力

答　自衛隊との情報にも速やかに対応できるよう消防指令システムを18年度に導入する要でないか。

問　大規模災害に備え、自衛隊と同じように緯度・経度表示される防災システムが必要ですか。

答　（自新ク 戸田 哲 議員）

問　太平洋グループから借りている土地や建物について、方向性を示すことが必要だ。

答　これまで原則無償譲渡という考え方できたが、大牟田市が三井鉱山グループから有償で資産買取に合意した例もあり、それらを参考に協議を進めたい。





消防本部の緊急消防指令旗設

〔阿寒ク 鶴間秀典 議員〕
問 道州制に係る権限移譲に
関し、道東の中心都市「道東
キヤビタル都市」を目指し、
主導的役割を果たせないか。
答 道州制を巡る情勢は流動的
的だが、釧根管内市町村と連
携し、十分議論を尽くしたい。
〔市民連 佐藤勝秋 議員〕
問 橋南東部地域の今後の主
ぢづくりについて聞きたい。
答 炭鉱事業の継続に全力を
傾注するとともに、地域住民
と議論を深め、まちづくりの
方向性を定めたい。
〔共産党 鈴木義澄 議員〕
問 〔株〕釧路熱供給公社の社長
人事について聞きたい。
答 市の経済担当部長が非常
勤で代表取締役を歴任してき
た。合併後は新たな業務に対
応するため、行政経験豊富な
前音別町長を常勤役員候補と
して推薦した。
〔市政ク 続木敏博 議員〕
問 コンテナ貨物量の増大を
図るために、ガントリークレー
ン（大型荷役機械）の導入が
必要でないか。
答 早期導入に向け、関係業
界と資金面や運用条件等につ
いて協議を進めたい。

会派略称説明)市民連:市民連合議員団
自新ク:自由新政クラブ
公明ク:公明党議員団
阿寧ク:阿寧クラブ
自民ク:くしろ自民クラブ
共産党:日本共産党議員団
市議会だより

委員会審査

4 常任委・2 特別委

3月14日
23日

建設常任委員會

釧路町の分水区域 給水区域化に向け銳意協議

鉢路町の分水区域を 将来 市の給水区域とすることを前 提にそれまでの期間の経過措 置として分水料金を引き下げ ることにしたが、給水区域化 は、5年程度を一応の目安と して取り組むべきでないか質 問がありました。

理事者は、給水区域化は、同時に町の水道事業会計の閉鎖を意味するが、そのためには同会計の不良債務が解消されなければならない。一方的な目標年次の設定はできないが、今後、その設定も念頭に置き、給水区域化の実現に向け鋭意協議していく」と答えました。

財政經濟常任委員會

石炭対策特別委員会



観光情報の発信が期待されるMOC

市長は、M
OOには観光物
産情報センター機能の多くが

市長は、M O Oには観光物産情報センター機能の多くが集積されるものと認識している。案内所として職員を配置することはできないが、インターネットやテレビ画面を通じた情報ガイド、ガイダンス機能を持つたものを想定しており、大いに観光情報を発信していきたいと答えました。

名で国へ提出することになつた。新会社設立の協議段階であることや炭鉱閉山後の経緯を考えると、太平洋興発㈱が基本構想の主体になることについて、再考すべきでないか質問がありました。

理事者は 3 者で作成した
基本構想から当事者を外すこ
とはできない。両社に対し、
地域の思いに十分配慮するよ
う申し入れるとともに、協力
体制をとつていきたいと答え
ました。

廃棄物処理対策特別委員会

ごみ処理有料化から1年
以後もより一層の減量化へ
ごみ処理手数料有料化実施
から1年近く経過し、予測し
ていた以上の減量効果が見ら
れた。今後はどのような姿勢
で取り組んでいくか質問があ
りました。

理事者は、市民の分別意識の向上を目指して進めてきた取り組みや経過を検証し、今後も積極的に懇談会等で市民と意見交換をするなど、一層のごみ減量化と再資源化に取り組んでいきたいと答えました。

總務文教常任委員會

民生福祉常任委員會

していきたいと答えました。

冬季国体の誘致 21年度以降の開催を検討

住宅用太陽光発電システム助成制度継続を検討した。自然環境に恵まれた新市にふさわしい取り組みと考えられる。18年度をもって、当初の予定である3年の助成事業期間が終了するが、継続する考えはないか質問がありました。

A wide-angle, black-and-white photograph of a massive stadium interior. The foreground is filled with the dark silhouettes of spectators in the lower seating tiers. Above them, thousands of people are visible in the upper tier, stretching across the frame. The stadium's architecture features a high ceiling with numerous bright lights and a large, prominent vertical banner on the right side. The banner displays a stylized logo and the text "WORLD CHAMPIONSHIP".

過去の開催時期から勘案して、冬季国体を誘致しても良い時期ではないか質問がありました。

市長は、市街地に施設が集中しており、施設間の移動に時間を使わないなど好条件がそろっている。しかし、開催主体は都道府県であり、多額の費用負担も伴うことから、まずは道が受け入れることが条件となる。競技団体と調整の上、21年度以降に開催できるよう誘致に向け、協議検討

住宅用太陽光発電システム

本会議での議論を記録した会議録が、市のホームページの「釧路市議会」の項目からアクセスし、閲覧・検索できるようになりました。

新市がスタートした昨年10月以降の議会からご覧になります。どうぞご利用下さい。

本会議を生中継
定例会開会中は、本会議での代表質問、質疑・一般質問

等の模様を、市のホームページの「釧路市議会」の項目からアクセスし、ご覧になります。(生中継)
なお、CATV(ケーブルテレビ)でもこれまでどおり放送します。

公共施設では市役所1階ロビー／市立病院1階待合室／広場／コア鳥取／コアかがやまなぼつと幣舞2階市民自由広場／鳥取支所／阿寒町・音別町両行政センターの8カ所でご覧になります。

議会を傍聴しませんか
市政を知る良い機会です。
個人・団体などで、お越しください。次の6月定例会は、
6月20日(火)午前10時からの予定です。

平成18年第1回2月定例会審議結果											
会派名 ()は議員数		○賛成 ×反対									
件名		審議結果									
市長提出		議案									
会派名 ()は議員数	件名	市民連合議員団(6)	自由新政クラブ(5)	くしき自民クラブ(7)	市政クラブ(5)	公明党議員団(5)	日本共産党議員団(5)	阿寒クラブ(11)	音別会(9)	審議結果	
予算	18年度予算 国民健康保険音別診療所事業特別会計(358,000千円)／音別歯科診療所事業特別会計(54,100千円)／動物園事業特別会計(385,345千円)／簡易水道事業特別会計(116,366千円)／下水道事業特別会計(1,366,054千円)／水道事業会計(6,419,247千円)／工業用水道事業会計(106,145千円)／公設地方卸売市場事業会計(216,296千円)／市設魚揚場事業会計(3,495,392千円)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	一般会計(15,000,000千円)／国民健康保険特別会計(19,726,242千円)／老人保健特別会計(18,244,154千円)／介護保険特別会計(9,015,401千円)／駐車場事業特別会計(188,234千円)／病院事業会計(25,985,156千円)／下水道事業会計(17,189,732千円)／港湾整備事業会計(2,081,642千円)	○	○	○	○	○	×	○	○	可決	
	17年度補正予算 国民健康保険特別会計(324,877千円)／総額12,130,155千円／病院事業会計／水道事業会計／下水道事業会計／市設魚揚場事業会計／港湾整備事業会計／一般会計(1,449,224千円)／総額71,433,369千円、3月6日追加提出分)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	一般会計(2,677,876千円、総額69,984,145千円)／介護保険特別会計(施設管理運営委託費の債務負担行為)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
決算	17年度各会計決算 各会計(一般会計・特別会計)決算(旧阿寒町)／西部消防組合	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	各会計(一般会計・特別会計)決算(旧釧路市・旧音別町)	○	○	○	○	○	×	○	○	認定	
	17年度企業会計決算 水道事業会計／中央卸売市場事業会計／市設魚揚場事業会計／阿寒町国民健康保険町立阿寒病院事業会計／阿寒町水道事業会計／音別町工業用水道事業会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	市立釧路総合病院事業会計／下水道事業会計／港湾整備事業会計	○	○	○	○	○	×	○	○	○	認定
条例	制定条例 特別職の職員の給与に関する条例等の特例に関する条例／障害程度区分等審査会の委員の定数等を定める条例／中央卸売市場の公設地方卸売市場への転換に伴う手続等を定める条例／動物園条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	国民保護協議会条例／国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例／国民健康保険条例／阿寒町民交通傷害保障条例を廃止する条例／音別町民交通傷害保障条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	可決	
	市長の在任期間に関する条例	×	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
	一部改正条例 基金条例／議員その他非常勤職員等の公務災害補償等条例／ホームヘルパー派遣条例／重度心身障害者医療費助成条例／廃棄物の減量及び処理等に関する条例／消防団員等公務災害補償条例／消防手数料条例／公営企業の設置等に関する条例／工業用水道事業給水条例／介護保険条例／市立釧路国民健康保険音別診療所条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
職員定数条例／阿寒町保健・福祉サービス複合施設条例／音別町福祉保健センター条例／音別町認知症高齢者グループホームの設置及び管理運営に関する条例／保育に関する条例	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決	
事務分掌条例	×	○	○	○	○	○	×	○	○	可決	
人事	固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件(岡田東洋男氏)／人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める件(稲澤優氏／岩橋尊和氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
その他	広域連合規約の変更に関する協議の件／過疎地域自立促進市町村計画の策定に関する件／辺境に係る公共的施設の総合整備計画の変更に関する件	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
専決処分	17年度補正予算 一般会計(道路除雪費及び平成17年台風第14号に係る災害復旧費142,000千円／国直轄港湾工事負担金30,000千円)	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	
	報告 負傷及び物損事故損害賠償額の決定等2件	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	
議員提出											
議員提出											
条例	一部改正 市議会委員会条例(常任委員会の所管事項の改正)	×	○	○	○	○	○	×	○	可決	
意見書	台湾からの観光客に対する国際免許証の発行を求める意見書／公立高校の存続に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	「事業仕分け」による行財政の効率化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	×	○	可決	
	医師・看護師等の大幅増員を求める意見書	○	×	○	○	○	○	○	○	可決	
	安心の医療制度改革を求める意見書	○	○	×	○	○	○	○	○	可決	
議長付議案											
人事	農業委員会委員に選任すべき学識経験者推薦の件(畠中優周／松永征明／細野勝／渡辺慶蔵)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	請願 申請(陳情) (継続審査中で引き続き「継続審査」となったものは除く)	○	×	○	○	○	○	×	○	可決	
請願	医師・看護師等の大幅増員を求める意見書の件	○	×	○	○	○	○	○	○	採択	
陳情	阿寒中学校校舎の早期全面改築に関する件	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	
	医療制度改革に関する意見書	○	○	×	○	×	○	×	×	不採択	
議会に報告されたもの											
市長提出	平成17年事務報告書／専決処分報告5件(交通事故損害賠償額の決定等2件／物損事故損害賠償額の決定等3件)／工事請負契約変更報告(東港区城山物揚場改良工事の工期変更)									完了	
監査委員提出	例月現金出納検査報告書									完了	

平成18年第2回4月臨時会審議結果										
市長提出		○賛成 ×反対								
契約		議案								
意見書		議案								
工事請負	工事請負 烏取西小学校第2期大規模改築建築主体工事(298,725千円)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議員提出	議案								
	新聞の「特殊指定」制度の堅持を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	可決